

## 平成29年度 美術科 授業改善推進プラン

大田区立蓮沼中学校

### 1 昨年度の授業改善推進プランの検証

#### (1) 成果

- ・実物投影機を活用した導入により、今後の作業工程の見える化で、制作意欲が高まった。
- ・目標設定の明確化と評価の観点との整合性により、制作中の集中力が高まった。
- ・全員展示の校内展実施により、鑑賞の機会が設けられた。

#### (2) 課題

- ・発想・構想に関しては各生徒の能力に負うところが大きいため、制作の初期段階で生徒同士がアイディアに関するコミュニケーションを行い、より広い気付きに結びつける必要があると考える。
- ・美術科として身に付けるべき能力全般に関わるのは鑑賞の能力と考えるので、作品展示だけでなく、補助資料を活用した鑑賞の回数を増やす必要があると考える。

### 2 大田区学習効果測定の結果分析

#### (1) 達成率（経年比較）

	平成29年度結果	平成28年度結果	平成27年度結果
第1学年	実施なし	/	/
第2学年	実施なし	実施なし (第1学年時)	/
第3学年	実施なし	実施なし (第2学年時)	実施なし (第1学年時)

#### (2) 分析（観点別）

##### ① 第1学年

関心・意欲・態度	発想・構想	技能	鑑賞
・学習意欲の個人差が大きく、集中力や授業態度についても少しずつ身に付いてきている。	・参考作品を見ながら具体的な説明を聞くと、形のバランスに気付くことができるが、細部への配慮が不足する生徒がまだ見受けられる。	・能力の個人差が大きい。積み重ねの練習で正確なレタリングができる生徒と、反面、定規で寸法を測る等の細かい作業が苦手な生徒もいる。	・作品の時代背景や、制作者のエピソード等に関心を持ち、継続した興味を持つ生徒が多い。

##### ② 第2学年

関心・意欲・態度	発想・構想	技能	鑑賞
・授業規律が身に付き、毎時間積極的に制作に取り組むこと	・評価の観点を明確にして制作することで、アイディアが出	・作業手順と注意事項を守り、基本的な技能を習得できる生	・作品の時代背景や、制作者のエピソード等に関心を持ち、継

できている。 ・用具を正しく使い、安全に作業することができる。	しやすくなった。 ・参考作品を基に工夫を加える生徒が増えた。	徒が多い。 ・根気強く作業を積み重ねて作品のレベルを上げる生徒が多い。	続した興味を持つことができる。 ・友達の作品の良さを感じ取ろうとする生徒が多い。
------------------------------------	-----------------------------------	--	---

### ③ 第3学年

関心・意欲・態度	発想・構想	技能	鑑賞
・授業規律が身に付き、毎時間積極的に制作に取り組むことができている。 ・用具を正しく使い、安全に作業することができる。	・評価の観点を明確にして制作することで、アイデアが出しやすくなった。 ・参考作品を基に工夫を加える生徒が多いが、アイデアをまとめる時間が長い生徒がいる。	・作業手順と注意事項を守り、基本的な技能を習得できる生徒が多い。 ・根気強く作業を積み重ねて作品のレベルを上げる生徒が多い。	・作品の時代背景や、制作者のエピソード等に関心を持ち、続した興味を持つことができる。 ・友達の制作に興味を持ち、良い部分に気付き自ら参考にする生徒が多い。

## 3 授業改善のポイント（観点別）

### (1) 第1学年

関心・意欲・態度	発想・構想	技能	鑑賞
・分かりやすい導入を目指し、作品の静止画像と制作手順の動画も取り入れる。 ・教卓に集める等の生徒の動きを取り入れる。	・作業機の4人組活動を取り入れる。アイデアスケッチの段階で情報の共有を行い、お互いにアドバイスをして作品に生かす。	・基本的な用具の使い方と応用について確認する時間をとる。 ・用具の使いこなしについても評価の基準を明確にする。	・副教材等で鑑賞の機会を増やし、感想を記入することで一作品に対する見方や感じ方を深めるようにする。

### (2) 第2学年

関心・意欲・態度	発想・構想	技能	鑑賞
・授業外での作品準備ができるよう、導入で使用する学習プリントとは別に『ここまで頑張ってみました』プリントを配布する。	・作業機の4人組活動を取り入れる。アイデアスケッチの段階で情報の共有を行い、お互いにアドバイスをして作品に生かす。	・より良い表現とそ のための技能を習得するために、必要に応じた鑑賞も取り入れていく。	・作品のジャンルと鑑賞の機会を増やし、気付きと感想を記入することで、見方や感じ方を深めるようにする。

### (3) 第3学年

関心・意欲・態度	発想・構想	技能	鑑賞
・授業外での作品準備ができるよう、導入で使用する学習プ	・作業機の4人組活動を取り入れる。アイデアスケッチの	・より良い表現とそ のための技能を習得するために、必要に	・作品のジャンルと鑑賞の機会を増やし、気付きと感想を

プリントとは別に『ここまで頑張ってみました』プリントを配布する。	段階で情報の共有を行い、お互いにアドバイスをして作品に生かす。	応じた鑑賞も取り入れていく。	記入することで、見方や感じ方を深めるようにする。
----------------------------------	---------------------------------	----------------	--------------------------